



<https://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

令和7年8月

残暑お見舞い
申し上げます



小国郷大根部会の明里忠行さん・詠津子さん夫妻と長男・聡一郎さん

■今号16ページ 主な内容

- JA阿蘇第24回通常総代会開催
- JA阿蘇園芸連絡協議会総代会／2025年度JA阿蘇出荷大会開催
- 夏秋野菜販売力強化ヘトップセールス！
- 『生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報』
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント！etc.

今号も話題と情報を満載！！

Instagram



ホームページ



2025
盛夏

VOL.142

●/▲ 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088



JA阿蘇からのお知らせ

JA阿蘇は、地域農業の持続可能な米づくりを目指すため令和7年産米の『概算金目標額』を提示しました。

令和7年産米概算金目標額

対象者（条件）

令和7年11月末までにJA阿蘇に出荷された組合員（注：新規に出荷される方は手続きが必要です。）



概算金目標額



【特別栽培米】

コシヒカリ・ミルキークィーン（1等）

30,240円/60kg (税込)

※等級により価格差があります。一般米との価格差は一律1,500円になります。
また、上記の金額より検査費等の手数料を控除致します。

JA阿蘇独自の集荷対策措置を以下の通り設けました！

①フレコン出荷助成措置

生産者・農事組合法人等の担い手の負担軽減、労働力不足の解消のため、以下の通り出荷助成を致します。

2,000円 袋/900kg (税込) **1,000円 袋/600kg** (税込)

※JA阿蘇購買店舗にてフレコン袋を購入された組合員及び農事組合法人で、そのフレコン袋にて出荷されJA阿蘇農産物検査を受けた数量に対して助成致します。

②くず米袋無償配布

JA阿蘇に出荷される方を対象に、各倉庫にてくず米袋を事前に無償配布致します。※無償配布分を出荷されない方には、袋代を徴収する事があります。

・詳細は、各地区の営農部農産課へお問合せください。

（小国郷地区0967-46-3212）（中部地区0967-32-1132）（南部地区0967-62-9833）

「JA阿蘇令和7年産米集荷推進大会」開く

- ① 阿蘇米ブランドの更なる確立と価値向上
 - ② 集荷体制の効率化と品質管理の徹底
 - ③ 販売戦略方針として、
- JA阿蘇は7月24日、阿蘇市で「令和7年産米集荷推進大会」を初めて開催しました。市場の米価格変動や資材高騰を受け、生産者に支払う1俵あたりの1等米コシヒカリの概算金目標額を、前年比8220円増の3万240円としました。
- 原山寅雄組合長は挨拶で「米を取り巻く環境は依然として不確実性が高く、厳しい状況が続いている。生産者の営農と暮らしを守るために、強い気持ちで概算金目標額を設定した」と述べました。
- 集荷戦略方針として、
- ① 生産者との連携強化と計画的な作付け推進

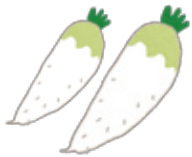


- ② 多様な販売チャネルの開拓と強化
 - ③ 消費者ニーズへの対応と付加価値商品の開発を掲げました。
- そして、生産者・農事組合法人等の担い手の負担軽減・労働力不足解消のため、フレコン1袋（900kg）あたり2000円の出荷助成措置やJA出荷者にくず米袋を無料配布することを発表。
- 生産者とJAが一体となり、高品質な阿蘇米の生産・市場ニーズを捉えた戦略的な販売活動を展開し、生産者の所得向上と地域農業の持続的な発展に取り組んでいくことを強調しました。
- JA阿蘇では昨年11月、米俵およそ8万俵分が保管できる大型自動ラック式農業倉庫「米夢（まいむ）」を総工事費約20億円で建設。品質維持やフレコン集荷による労働力低減が期待されており、今年産から本格的に稼働します。
- また大会では、(株)アキダイ代表取締役社長・秋葉弘道氏による『消費者から見たお米の価値とみらい』アキダイの現場から生産者への提言』と題した講演や、国政へ提出した国内生産の維持・拡大を最優先とした実効性のある食料安全保障対策を、速やかに打ち出すことを求めた要請書の内容が紹介されました。
- 稲作部会の立石翼部会長は「生産者一同がJA・行政・取引先と連携し、安全で美味しい、JA阿蘇の米づくり」に邁進する」と決意を表明しました。
- JA阿蘇は、今後も米を取り巻く様々な環境変化に対応し収益性と持続性を追求する米作りに取り組めます。
- 写真上「JA阿蘇令和7年産米集荷推進大会」で決意を述べる原山組合長

KAB(熊本朝日放送)「Do You のうぎょう?クエスチョン」小国郷を取材!



7月11日放送『小国郷野菜集荷場編』
生産者が持ち込んだ農産物や鮮度・品質を保つための工夫が放送されました。



7月4日放送『生産者編』
小国郷大根部会の明里忠行さん・聡一郎さん親子がダイコン生産にかける想いや、高品質なダイコンを栽培する工夫が取材され放送されました。

※写真はいずれも撮影の一コマ

「JA阿蘇第24回通常総代会」開催



式辞を述べる原山寅雄組合長



J A阿蘇の第24回通常総代会が6月25日、総代やJ A阿蘇役職員が出席し、阿蘇市体育館で開催されました。

**2025年度事業重点目標として
「農業者の所得増大」「農産生産の拡大」「地域の活性化」など
6つの基本方針を掲げ取り組む！**

原山寅雄組合長は式辞の冒頭で「ご来賓各位のご臨席と総代の皆様方のご出席を頂きましたことを深く感謝申し上げます」と述べ、話題の米問題に触れ、J A阿蘇での米に関する取り組みや国への要望について熱く想いを語りました。

議事では、第24回通常総代会提出議案の「第1号議案Ⅱ令和6年度事業報告及び剰余金処分案について（報告事項）令和6年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び付属明細書について」、「第2号議案Ⅱ令和7年度事業計画及び関連事項について」、「第3号議案Ⅱ定款の変更について」、「第4号議案Ⅱ定款附属書役員選任規程の変更について」、「第5号議案Ⅱ定款附属書総代選挙規程の変更について」、「第6号議案ⅡJ A阿蘇活動総合3カ年計画について」、「第7号議案Ⅱ自己資本充実計画について」が審議され、承認されました。

2024年度決算概要は、事業収益が112億186万円（前年比98・2%）、経常利益は2億817万円（同66%）、当期剰余金は4445万円（同25%）、出資配当は10%の4047万円と

=お知らせ=

組合員資格確認について

当J Aに届け出て頂いている内容（氏名、住所、組合員たる資格の別等）に変更があった場合には、J A阿蘇各支所迄ご連絡ください。

なっています。
2025年度事業は「農業者の所得増大」「農産生産の拡大」「地域の活性化」の3点を重点取り組み目標に据え、①持続可能な農業経営に対する生産基盤・組織基盤の確立、②組合員・利用者への永続的な保障提供に向けた持続可能な経営基盤の確立、③J Aの総合事業性を最大限活かした金融仲介機能の発揮など6つの基本方針を掲げ取り組むこととなりました。（写真上Ⅱ第24回を迎えた通常総代会の様子）



永年勤続表彰式の様子

永年勤続表彰式を行う

6月25日、阿蘇市体育館で勤続年数が20年、30年となる職員を対象に永年勤続者表彰を行いました。

30年で7名、20年で3名の計10名の職員が表彰を受け、原山組合長より賞状が贈呈されました。

永年勤続者に対し、原山組合長は「長年にわたる努力に敬意を表したいと思います。これからも農協事業に対し精進、努力されますよう心より期待しています」と祝辞を述べました。



JA阿蘇園芸連絡協議会総代会
「消費者に選ばれる
阿蘇ブランド構築めざす！」



「阿蘇農産物の更なるアピールを」と述べる原山組合長

JA阿蘇園芸連絡協議会は7月1日、阿蘇市で2024年度総代会を開催しました。総代会には代議員・JA関係者約50人が参加。25年度事業計画案など2議案1報告を承認しました。

坂田一雄会長は冒頭の挨拶で「世界情勢の変化による円安、資材費高騰などの状況が続いているが、消費者から選ばれる阿蘇ブランドの構築を目指していく」と決意を述べました。

同連絡協議会は24年度、福岡大同青果でのベジフル感謝祭や熊本市での野

菜の日特売会に参加し、阿蘇の農産物PRを積極的に行いました。

原山寅雄組合長も「生産者が安定した生産・出荷を行えるよう万全な体制を整え、世界農業遺産である阿蘇の農産物のアピールしていく」と熱く述べました。

園芸連絡協議会では、25年度も販促活動やイベントへの参加を通し、さらに阿蘇農産物のPRに努めていく方針です。

販売目標額68億円

JAや市場関係者ら約80人参加
「JA阿蘇出荷大会」開催



参加者全員による「がんばろう三唱」

JA阿蘇は7月1日「2025年度JA阿蘇出荷大会」を初めて開催し、JA役職員や市場関係者など約80人が参加しました。25年度の販売目標（野菜・果菜・花卉果樹）金額を68億円とし、重点実施事項として「安全・安心な農産物の生産拡大と農家所得の安定化」「販売力強化による安定供給体制の構築」の2項目を掲げました。

また、消費地での販売促進会及びメディア等を活用した産地情報の発信、

JA熊本経済連の青果物コントロールセンター機能活用による輸出に向けた試験販売の実施、阿蘇世界農業遺産販促資材を活用した多品目での「阿蘇フェア」開催などに取り組んでいく計画を承認しました。さらに大会では管内の品目担当者ごとに作柄概況の報告があり、いちご部会が取り組む事例報告では江藤秀晃職員が「品種の特性を生かし多種多様なアイテム展開による販売取り組み」や「UAEや台湾への輸出計画」を発表しました。

原山寅雄組合長は「高冷産地である阿蘇の農産物は市場で人気を集めている。阿蘇の農産物に誇りをもって販促活動やトップセールスに取り組んでいく」と決意を述べました。

最後に販売目標金額達成に向けて、「がんばろう三唱」を行い、より一層の団結を図りました。

原山組合長ら福岡大同青果で
夏秋野菜のトップセールス！



JA阿蘇は6月21日、福岡大同青果で仲卸業者ら50人を前に原山寅雄組合長自ら夏秋野菜の販売力強化に向けたトップセールスを行いました。

原山組合長は「農作物を消費してもらうことで産地が活気づく。頑張っている生産者の想いに理解を求めたい」と語りかけ「阿蘇の夏秋野菜」を熱くPRしました。2025年産は残暑への対応としてより長期的な防除計画を策定。高温対策としてハウス内の温度・湿度を適正管理するための指導を徹底し、全体で販売数量5800t（前年比96%）、販売金額22億5700万円（同112%）を計画しています。PR後には、特産の阿蘇小国ジャージーのむヨーグルトが仲買業者らに振る舞われ、仲卸業者らは喉を潤していました。（写真1トップセールスを行う原山組合長・JA阿蘇関係者）



父の日に地元小・中学校、
保育園等に「のむヨーグルト」贈る
小国郷酪農振興会



小国郷酪農振興会は6月11日の父の日に、高村祐二会長が小国町役場を訪れ、渡邊誠次町長に「のむヨーグルト」(1本100ml)約750本を贈りました。同イベントは、小国郷の特産品である「のむヨーグルト」を飲んでもらおうと毎年PRを兼ね、牛乳月間の6月「父の日」(乳の語呂合わせ)前後に行っています。

高村会長は「子供たちにジャージー製品を飲んでもらい、笑顔になつてもらいたい」と笑顔で話していました。(写真＝渡邊小国町長「左」に「のむヨーグルト」を贈る高村会長)

水稲出穂前に高温対策を！
高温対策現地検討会を実施
生産者ら約40名が参加



J A阿蘇は7月4日、水稲における高温対策現地検討会を開き、生産者ら約40名が参加しました。

本来、検討会は現地圃場で開催されますが、熱中症を考慮し室内で行われました。昨年の夏場における高温の影響で、阿蘇地域においても登熟歩合の低下や乳白米の発生など品質の低下がみられたため、今回の研修実施となりました。

阿蘇地域振興局農業普及・振興課の川端公己氏が25年産の生育状況や高温耐性品種の紹介、白未熟粒発生メカ

ニズムなどを説明しました。

続いて、開発肥料(株)の小野寺直子氏が「土づくり・施肥で稲に力を」と題して、高温による収量減少や品質低下対策としてケイ酸カリを施した生育方法について講義しました。

参加した生産者は「全国で米が注目される今、米生産は非常に重要となっている。高温による収量減・品質低下にならない生産方法に取り組みたい」と感想を述べていました。

また、J A阿蘇の担当職員も「気候変動に適応した栽培方法の指導を徹底していきたい」と、これまでの栽培方法とは違った指導の必要性を語っていました。(写真上＝室内で行われた高温対策現地検討会の様子)

「組合員の負託に
応える職員を目指そう」
新入職員対象の意識改革研修会

J A阿蘇は5月26日、一の宮中央支所で新入職員を対象とした意識改革研修会を開きました。同研修会は新入職員に社会的責任と公共的使命への理解を深めてもらうことを目的に毎年開かれています。

原山寅雄組合長は冒頭「今回の研修を通して、J A阿蘇の職員としての自覚を再認識し、業務に取り組んでほし

い」とあいさつした。

研修ではJ A阿蘇相談役の本田正實氏が「J A阿蘇職員の義務と責任」と題し、職員としてのコンプライアンスの徹底や就業規則について説明しました。

参加した新入職員は「社会人としての責任、J A職員としての役割を理解することが出来た。組合員の負託に応える職員を目指したい」と抱負を述べました。

また当日は、新任管理者向けの「J A阿蘇管理者の立場・役割・責任」についての研修も行われました。



研修を受ける新入職員



第12期生あそつ娘☆短期大学 開校
「美容と歯の健康」について学び
リンパマッサージも体験



JA阿蘇営農部は6月26日、第12期生となる2025年度あそつ娘☆短期大学の開校式を行いました。

式には在校生やJA関係者ら約50人が出席しました。入校生を代表して住吉澄代さんが「この1年間あそつ娘☆短期大学での研修を通して交流を深めていき、楽しみながらもしっかりと学び今後の生活に役立てていきたい」と挨拶しました。

当日は「美容と歯の健康」について学ぶ研修も行われ、講師がエコープ

JA阿蘇女性部 健診の受診者向上に寄与
熊本厚生連より「健康管理活動優良表彰」



JA阿蘇女性部は、JA熊本厚生連が行う住民健診の受診者数向上に寄与したことで「令和6年度健康管理活動優良表彰」を受けました。

部会員469人が各地域で組合員を

マーク商品の魅力を紹介しながら、米ぬかの成分が入った化粧品を用いたり、リンパマッサージ、米胚芽油を配合した歯磨き粉を使った丁寧な歯磨きの方法など実践しました。

在校生のあそつ娘☆は「これからは自然由来成分の商品を使い、健康で若々しく生活していきたい」と話していました。同大学では、定期的に視察研修や料理教室など行う予定です。

(写真上＝リンパマッサージをするあそつ娘☆の皆さん)

JA阿蘇青壮年部一の宮支部
地元小学生とミニトマト苗植え

JA阿蘇青壮年部一の宮支部は5月下旬、阿蘇市立一の宮小学校2年生約60名を対象に、ミニトマトの定植指導をしました。同校では食育学習として毎年ミニトマトの生育観察を行っています。

一の宮支部の盟友らは、ミニトマトの生育過程や実の着き方をわかりやすく説明。

はじめ、地域住民や地元企業などにも周知活動を展開し、年間で約4900人の受診者数となりました。

女性部はSDGsを意識した活動を展開。行政と連携したフードドライブ活動やドライフード作製、地域環境を守るためのクリーン活動にも取り組んでいます。



女性部担当の堀川美紀職員は「女性部を通して、地域を守る・支える活動に取り組んできた成果が実を結び嬉しく思う」と喜びを語っていました。

今年度から新たな3カ年画の基本方針を掲げ、地元食材を使った料理教室や子育て支援活動に積極的に取り組んでいきます。

(写真上＝表彰を受けた女性部)

その後、児童らは培土と肥料をプランターへ入れ、苗を傷めないよう丁寧に扱いながら定植をしました。

児童らは「毎日観察して、大切に育てます!」「収穫が楽しみです」と感想をもらっていました。

田端伸吉支部長は「作物を育てる大変さを学んでもらい、食の大切さを実感して欲しい。そして、今後の日本の食文化を守ってほしい」と話していました。

収穫期は7月上旬頃となり、それまで同支部盟友が定期的に観察と指導を行う予定です。(写真左＝定植の作業を見守る青壮年部一の宮支部盟友)



生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報 ①

中部キュウリ部会出荷査定会
販売額5000万円を掲げる



挨拶をする立山崇章部会長

JA阿蘇中部キュウリ部会は6月9日、本格的な出荷を前に部会員・市場関係者・JA役職員らが出席して、2025年産出荷査定会を阿蘇市で開きました。現在、生産者は8戸で1.3haで栽培し、6月中旬から九州管内を中心に出荷が始まっています。販売数量は160t（前年比97%）、販売金額は5000万円（同109%）を掲げています。

立山崇章部会長は冒頭の挨拶で「近年、夏場の高温が夏秋産地にとって重要な課題となっている。異常気象とも言える環境の中、さらなる品質向上を目指し、消費者の皆さんに安全・安心なキュウリを届けたい」と力強く述べ

ました。今年から販売担当の堤優大職員も「目標達成に向け市場と密に情報交換を行い、有利販売に繋げていきたい」と意気込みを語っていました。

県内や福岡など九州管内中心に
夏秋キュウリ出荷最盛期迎える

JA阿蘇中部キュウリ部会の2025年産夏秋キュウリが出荷最盛期（6月下旬取材時）を迎えました。

主な出荷先は県内や福岡・鹿児島と九州管内が中心で、品種は節成性が高く分枝性も良い「ニーナZ」や「スック」となっています。

担当指導員は「農家所得増に向け、収量・品質向上に現地検討会、巡回を通して取り組む。また、阿蘇の農産物が消費者に選ばれるものとして販売にも繋げたい」と話していました。



キュウリ選果作業の様子

阿蘇市大麦生産部会
総出荷量810tを目指す！



JA阿蘇管内では6月2日から本格的に大麦「はるしずく」の収穫が始まりました。阿蘇市大麦生産部会では324ha（前年比92%）を作付けしています。「はるしずく」は阿蘇の高地に適した品種で、総出荷量810t（前年比188%）、販売金額1620万円（同235%）を目指しています。

2024年産は出穂期前後の天候不順で「網斑病」の発生や日照不足から大幅な減収となりました。25年産は生育の遅れが見られ平年より遅い収穫となりましたが、収量・品質ともに良好です。6月4日、同部会の田中晨星さんは約1.8haを収穫しました。他にも主食米を3haとWCS7haを管理。期待の若手農業者です。

田中さんは「雨による影響も少なく、昨年以上の品質・収量に繋がりが安堵している」と話していました。（写真Ⅱ「はるしずく」を収穫する田中晨星さん）

意見交換や技術指導も行う
花卉部会現地検討会

JA阿蘇花卉部会は6月30日、花卉出荷大会を開催。部会員・取引市場・県・JA担当者ら約40名が参加しました。参加者らは管内の圃場を視察し、栽培技術向上と高品質生産に向けて生産者と意見交換を行い、県やJA担当者からの技術指導も行われました。

部会員からは「同志との意見交換は勉強になる。部会全員で安定した生産に取り組みたい」との感想がありました。笹原祥樹指導員は「夏場の高温などで栽培が厳しい場面もあるが、生産者が高品質な物を出荷できるようにしっかりと指導していきたい」と抱負を語っていました。



関係者ら40名が参加した現地検討会の様子

生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報 ②

中部トマト部会出荷査定会
売上目標19億2000万円



出荷査定会で挨拶する斉藤部会長

6月5日、阿蘇市でJA阿蘇中部トマト部会出荷査定会が開かれ、生産者をはじめ行政・市場関係者・JA役員ら170名が参加しました。

現在、同部会では143名の生産者が合計39・4haの圃場でトマトを栽培。今年度出荷量は4800t、売上目標19億2千万円（前年比105%）を計画し、さらなる飛躍を目指しています。斉藤孝幸部会長は挨拶で「本年度も市場の要望に応えられるよう、部会員一同より一層の努力を重ね、阿蘇の豊かな自然で育った安全・安心で美味しいトマトを、全国の食卓にお届けします」と力強く述べました。

販売担当の倉岡拓郎職員も「生産現場の状況を詳細に把握し、市場関係者との情報交換を密に行うことで有利販売に努める」と抱負を語っていました。

JA阿蘇管内で2025年産
夏秋トマト出荷最盛期迎える



夏秋トマトの産地として知られるJA阿蘇管内で2025年産の出荷最盛期（6月下旬取材時）を迎えました。

中部トマト部会では高温下での着果性が優れ、肉質が良くコクのある「りんか409」を九州管内や関東・関西市場を主に11月まで出荷を行います。

同部会では、長期的な防除計画を策定。また高温による着果不良対策としてハウス換気と遮光管理の最適化、施肥管理の徹底を重点実施事項と定めています。中部野菜センターには各生産農家から多いときに約7000ケース（1ケース15kg）が持ち込まれ、選果選別作業に追われています。

近年、新規就農者や後継者が増加傾向にあり、新たに5名が同部会に加入。産地として注目され好評を得ている中、生産農家・行政・JAが連携し、収量・所得の増加を目指しています。

中部トマト部会「現地検討会」
安定出荷と目標達成を目指す

JA阿蘇中部トマト部会は7月9日、JA担当者・種苗会社・県振興局の関係者ら約30名が参加して、現地検討会を開きました。当日は、近年の高温推移による病害中の増加対策や土壌消毒剤についての検討、生育状況の把握、出荷規格の確認が行われました。

JA阿蘇の平野伸太郎指導員は「特に栽培後半の病害虫の防除徹底を改めて周知し、シーズンを通した安定出荷を図る。目標額達成に向けて販売担当や市場とも密に連絡を取り合い、他産地の動向にも目を向け、しっかりと指導していきたい」と述べました。



写真→現地検討会の様子

指導担当の田部滉大職員は「昨今の気候変動に適応した指導を徹底し、生産者の所得増加に繋げたい」と話していました。（写真右上は中部野菜センターでのトマト選果作業の様子）

南部トマト部会出荷査定会
販売高4億5900万円を計画



査定会で挨拶する高岡部会長

JA阿蘇南部トマト部会は6月3日、阿蘇南中央支所で生産者・市場関係者・JA関係者ら70名が出席し、2025年産出荷査定会を開催。本格的な出荷の前に選果場への持ち込み要領などの確認が行われました。

25年産作付面積は12ha（前年比92%）栽培戸数は昨年より1名増え50名。出荷は6月上旬から始まり7月中旬以降にピークを迎え11月までの出荷となります。今年産は出荷量25万5000ケース、販売高は4億5900万円を計画しています。

高岡幸一郎部会長は挨拶で「年々、高齢化や後継者不足により部会運営が難しくなっているため対策をしていきたい。そのためには、長年部会を支えている生産者はもちろん若手生産者からも積極的に意見を出してもらい単収増に向けた取り組みや部会研修などを開催したい」と述べました。

生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報 ③

中部ミニトマト部会出荷査定会
2025年度出荷計画を策定

出荷査定会で挨拶をする白石部会長

JA阿蘇中部ミニトマト部会は6月3日、阿蘇市で出荷査定会を開催しました。本格的な出荷の前に、出荷規格の確認と2025年度の出荷計画が発表されました。

白石忠幸部会長は「当部会も異常気象や高齢化、担い手不足といった厳しい環境にあるが、明確な生産販売計画を立て、生産力の維持・拡大、販売力の強化に努めていきたい」と力強く挨拶しました。

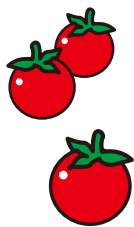
部会では販売数量195t（前年比114%）、販売金額1億3000万円（同103%）の目標を掲げています。販売担当の石田澄恵職員は「生産環境の厳しい情勢が続く中で、目標達成に向けて市場とも密に情報

食味・品質ともに良好！
夏秋ミニトマト出荷最盛期

中部ミニトマト部会は、2025年産夏秋ミニトマトの出荷最盛期を迎えました。同部会は生産者24戸で約3.5haに作付け。九州管内を中心に11月まで出荷予定です。品種は食味良好で酸味と甘みのバランスが取れた「サンチェリーピュア」や「みわた」で、高冷地栽培の強みを活かしています。指導担当の田部滉大職員は「気温上昇に伴う病害虫被害を抑制するため、徹底したローテーション防除の指導に取り組み」と話していました。



ミニトマト選果の様子



交換を行い、有利販売につなげていきたい」と話していました。

「まるごと一本」出荷開始
JA阿蘇小国郷大根部会

「まるごと一本」を紹介する高村隆さん

小国郷大根部会は6月上旬より「まるごと一本キャンペーン」を開始。対象の大根を購入し、バーコードをはがきに貼って送ると抽選で小国郷地区の特産品「小国ジャージー」のむヨーグルトセット」などが当たる企画です。消費宣伝活動として、販売しにくいM・Sサイズの大根に少しでも付加価値を付けるのが狙いです。

消費者からは「サイズ的に丁度良く使いきれ。いつも美味しい大根ありがとうございます。体に気付けて栽培を頑張ってください」などコメント等が書かれたはがきが、例年900通ほど送られてきています。

生産者の高村隆さんは「今の時期の大根は甘味が強く、そのままでも美味しく食べられるが、スティックサラダにしても味噌を付けて食べるのが最高です。美味しい大根を多くの消費者へ届けられるようこれからも頑張りたい」と笑顔で話していました。

JA阿蘇アスパラ部会
本年産10億9000万円目指す

JA阿蘇管内ではアスパラガスの夏芽出荷が順調に進み、一の宮選果場では連日3〜4tを選果しています。

夏芽の出荷ピーク前に現地検討会が行われ生産者ら50名が参加し、生育状況・出荷規格を確認しました。

7月上旬からピークを迎えており、九州を中心に関東、関西方面にも出荷されています。現在、JA阿蘇アスパラ部会は生産者95名、作付け総面積約32ha、品種は「ウェルカム」を中心に栽培されています。本年産は10億9000万円の販売を目指しています。

笹原祥樹指導員は「病害虫の防除徹底を改めて周知し、シーズンを通した安定出荷を目指し、目標額達成に向けて指導していく」と語っています。



アスパラ部会現地検討会の様子

生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報 ④

JA阿蘇いちご部会出荷反省会
今季販売金額7億9900万円



JA阿蘇いちご部会は7月8日、阿蘇市で令和6年産イチゴの出荷反省会を開き、生産者やJA・行政・市場関係者ら約70人が参加しました。

大津裕樹部会長は「皆さんのご尽力に感謝します。部会が一丸となって、さらなる高品質なイチゴ生産を目指します」と挨拶。反省会では実績を振り返り今後の課題・対策について話し合いました。

今季の出荷実績は販売数量490t（前年比98%）、販売金額7億9900万円（同102%）、平均単価1628円（同104%）となりました。

24年産は苗不足もなく、花芽の揃いも順調で計画通りに定植が進みましたが、定植後の高温傾向で11月まで小玉傾向で重量が伸びない圃場も一部で見

られました。その後、気温が安定し苗が充実したことで年内収量、シーズン実績は前年を上回る実績を記録しました。25年産は定植後の気候を考慮し、品種や地区別に定植時期を検討することとさらなる収量向上を目指します。また、近年は病害虫の発生が増えていため、引き続き適期防除の徹底を図ります。

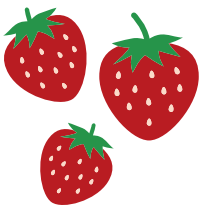
いちご部会では、熊本経済連が取りまとめる輸出事業に初年度から積極的に取り組んでおり、台湾への輸出を拡大しています。

台湾向けイチゴは、現地の厳しい農業規制に対応するため、残留農薬検査を定期的に実施。防除暦を作成し厳格な栽培管理を徹底しています。

輸出専用として、熊本県の人気キャラクター「くまモン」をあしらったオリジナルデザインの段ボールを作成しました。

江藤秀晃指導員は「輸出事業は初年度から手応えを感じている。生産面積を倍増させ、台湾出荷にさらに尽力する」と意気込みを語っていました。

（写真上＝出荷反省会の様子）



イチゴ苗の親株管理講習会
部会員・JA担当者ら50名が参加



JA阿蘇いちご部会は7月8日、阿蘇市でイチゴ苗の親株管理講習会を開催しました。講習会には部会員やJA担当者ら約50名が参加しました。

令和6年産は6月14日に最終出荷となりました。

休む間もなく同部会では次年度に向けて親株の育苗期を迎え、講習会ではJA担当者や県振興局から定植時期の検討や年内収量向上に向けて、親株管理中心の指導や定植後の温度管理の指導が行われました。

江藤指導員は「次年度は定植後の気候を考慮し、定植時期の検討を品種別、地区別で行い、更なる収量向上に取り組む」と要点を話していました。

（写真右＝講習会の様子）

JA阿蘇親善ソフトボール大会
小国郷チーム優勝



優勝した小国郷チーム

第5回JA阿蘇親善ソフトボール大会が7月5日、阿蘇市一の宮グラウンドで行われ、4チームがトーナメント戦で熱戦を繰り広げました。

開会式では原山組合長が「親善を第一に楽しく、最後まで怪我がないようにプレーして下さい」と挨拶。

選手を代表し小国郷チームの佐藤剛選手が力強く選手宣誓をして試合開始となりました。熱戦の結果、小国郷チームが優勝し、原山組合長より優勝旗が授与されました。

JA阿蘇 イラスト違い探し「金魚すくい」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。

探してみてください! (出題:イラストレーター みやた みゆき)



イラスト違い探し「金魚すくい」応募方法

上のイラスト5か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。

正解者の中から抽選で4名様に

「阿蘇小国ジャージーのむヨーグルトセット」(写真)をプレゼントします。

応募締め切りは令和7年9月15日(当日消印有効)です。

当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



前号「田植え」答えとプレゼント当選者4名様



＝ 答え ＝

- ① 男性のタオル
- ② 真ん中の男の子の服
- ③ 鳥の向き
- ④ 手前の男の子の口
- ⑤ 女性のエプロン



川上加代子 様 (阿蘇市)
 梅井 美保 様 (阿蘇市)
 山内亜由子 様 (南阿蘇村)
 犬飼まり子 様 (阿蘇市)

ハガキ (表)

〒869-2612 阿蘇市一の宮町官地387-5
 JA阿蘇 総務部
 「JAあそだより」係

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

●郵便番号

●住所 (番地までご記入ください)

●電話

●氏名

●年齢

●ご意見・ご要望

(内容によっては誌面で取り上げさせていただきます)

●その他

理 事 会 ・ 監 事 会 報 告

令和7年度第4回理事会

日時: 令和7年6月19日午後1時30分
場所: 一の宮中央支所会議室

- 1. 開会
- 2. 組合長挨拶
- 3. 協議事項
 - 5月末実績について
 - 1) 貸出金について(案)
 - 2) 役員賠償責任保険の継続契約について(案)
 - 3) 2025年度「JA阿蘇夏のマイカーローンキャンペーン」に伴うキャンペーン金利の取扱いについて(案)
 - 4) 令和7年度 固定資産取得計画の変更について(案)
 - 5) 令和7年度 夏季賞与支給について(案)

- 報告事項
- 1) 地公体貸出について
 - 2) 第24回通常総代会について
 - 3) 令和6年度決算監事監査報告書について
 - 4) 全般統制に関する評価報告書について
 - 5) 令和7年度米麦等棚卸監査実施要領について
 - 6) 大規模農業法人を対象とした部門間連携訪問の実施について
 - 7) 夏の農機自動車展示会開催について
 - 8) 自主検査結果について(令和7年4月)

4. 閉会

令和7年度第5回理事会

日時: 令和7年7月3日午後1時30分
場所: 一の宮中央支所会議室

- 1. 開会
- 2. 組合長挨拶
- 3. 協議事項
 - 5月末実績について
 - 1) 業務報告書の行政庁への提出について
 - 2) 事業のご案内2025(ディスクロージャー誌)について
 - 3) 事業のご案内2025(ミニディスクロージャー誌)について
 - 4) 令和7年度(各理事)役員報酬について(案)

4. 閉会

令和7年度第6回理事会

日時: 令和7年7月29日午後1時30分
場所: 一の宮中央支所会議室

1. 開会 ↗

- 2. 組合長挨拶
- 3. 協議事項
 - 6月末実績について
 - 1) 貸出金について(案)
 - 2) 規程類管理規程体系図の改正について(案)
 - 3) 農協教育要領の改正について(案)
 - 4) 情報セキュリティ基本規程の改正について(案)
 - 5) 令和6年度決算監事監査回答書(案)について
 - 6) 農産物検査業務の改定について(案)

- 報告事項
- 1) JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち農林中金が定める事項について
 - 2) 令和7年度 余裕金運用状況について(令和7年6月)
 - 3) 令和7年度(第2四半期) 余裕金運用方針について
 - 4) ATM利用状況について(令和7年6月末)
 - 5) 有価証券購入報告について
 - 6) 不祥事未然防止策内部監査実施状況報告書について(令和7年4月～令和7年6月)
 - 7) マネロン・反社等への対応状況について(四半期報告)
 - 8) 事務ミス等発生状況について
 - 9) 令和7年度 コンプライアンス・プログラム進捗状況について(令和7年6月末)
 - 10) 第24回 通常総代会事前説明会(座談会)開催状況について
 - 11) 自主検査結果について(令和7年5月)
4. 閉会

令和7年度第4回監事会

日時: 令和7年7月3日午前10時30分
場所: 本所2階第一会議室

- 1. 開会
- 2. 挨拶
- 3. 議題
 - 1) 令和7年度監事報酬について
 - 2) 令和7年度米麦等棚卸監査実施手続きについて
 - 3) JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち農林中金が定める事項について

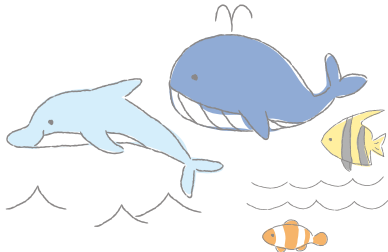
- 報告事項
- ① 常勤監事業務報告及び会議等報告について
 - ② 内部監査実施状況報告について(令和7年4月～令和7年7月)
 - ③ 令和7年度みのり監査法人「監査契約」締結について
 - ④ 行事予定について
4. 閉会

JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏 名	辞令 (令和7年7月1日)
穴見 巴	小国郷中央支所金融課金融係
伊藤 一真	阿蘇町中央支所購買課購買係 (グリーンショップやまびこ)
山本 祥子	一の宮中央支所金融課金融係
清塘 大悟	阿蘇町中央支所共済課共済係
加賀 俊二	小国郷中央支所購買課小国郷給油所係
石田 澄恵	営農部中部営農センター園芸課販売係

氏 名	辞令 (令和7年7月1日)	旧辞令
高本 喜平	阿蘇町中央支所 JA 阿蘇車輛センター係	西原支所 JA 阿蘇車輛センター係

氏 名	辞令 (令和7年7月22日)	旧辞令
山内 寛	営農部中部営農センター園芸課指導販売係 (アスパラ選果場)	営農部中部営農センター園芸課指導販売係 (波野駐在)



JA SS

JA-SS

QRコード 決済 利用できます！

各種QRコード決済が ご利用いただけます！

ご利用可能な決済サービス



※一部対象外店舗がございます。
詳しくは最寄りのJA-SSにお問い合わせください。





年金ライフ応援 キャンペーン

年金受取口座はJAバンクへ!

期間 2025年 **8月1日(金)** ▶ **10月31日(金)**

新規で
ご契約
の方

特典

キャンペーン期間中に、公的年金受取口座を
新規でJAにご指定いただくと

農協全国商品券

1,000円分プレゼント!

対象

キャンペーン期間中に、公的年金受取口座を新規でJAにご指定いただいた方
または他の金融機関から公的年金受取口座をJAに変更いただいた方

ご注意事項

- キャンペーン期間中に年金請求書または受取機関変更届をJA窓口にご提出いただいた方が対象となります。
JA窓口へ上記書類のご提出がない方は、受取口座をJAにご指定いただいた場合でも対象外となります。
- 詳しい内容は、お近くのJA窓口にお問合せください。

既に
ご契約中
の方

特典

すでにJAで年金を受取中のお客様にもおトクなご案内!

農協全国商品券

1,000円分プレゼント!

対象

キャンペーン期間中に、ご家族・ご友人をJAにご紹介※いただいた方

※「ご紹介」は、紹介を受けた方がJAで初めて口座開設いただくことを指します。以下の①②全てを満たした場合、紹介者ご本人へ特典を進呈いたします。

- ①キャンペーン参加時点で紹介者ご本人がJAで年金受取中であること。
- ②紹介者のご家族・ご友人等がJAで新規口座開設される際に、紹介者と一緒に来店いただき、
紹介者ご本人からJA窓口へ本キャンペーン参加へのお申出をいただくこと。

ご注意事項

- 紹介者と新規口座開設者が一緒に来店いただいた際に、紹介者ご本人からキャンペーン参加の申請をいただくことが条件のため、
事前または事後のキャンペーン申請は対象外となります。
- 口座開設はJA窓口でのお申込みのみが対象であり、JAバンクアプリ プラスからの口座開設は対象外です。ご了承ください。
- 紹介者の年金受取JAと、紹介を受けた方の新規口座開設JAが異なる場合は、本キャンペーンの対象外です。
- 紹介を受けて口座開設いただいたお客様は、本キャンペーンの特典対象外ですが、
別途おトクなご案内がございます! 詳しくはこちら
- 詳しい内容は、お近くのJA窓口にお問合せください。

JAバンク あなたのくらしに+JAプレゼント



「JAとの取引はこれから」というお客さまも お気軽にお問い合わせ・ご相談ください

年金は近くて便利な J A 阿蘇へ



JA阿蘇

夏のマイカーローン
キャンペーン

最優遇金利

変動
年1.30%

下記の金利引下げ条件を必ずお読みください。

申込は
こちらから

金利引下げ条件

・以下の①～⑤の条件を満たすお客さまは店頭金利から最大0.5% 引下げを行います。

- ①当JAでJAカード(クレジットカード)を契約中または新たに契約される方 ▲0.1%
- ②当JAに農産物販売代金・給与振込・年金振込を指定されている方
または新たに指定される方 ▲0.1%
- ③当JAにてJAネットバンクを契約中または新たに契約される方
もしくは通帳レス口座(JA/バンクアプリを含む)にされる方 ▲0.1%
- ④NISA口座開設されている方、新規に開設される方 ▲0.1%
- ⑤当JAで住宅ローンを利用されている方 ▲0.1%

JAマイカーローンの商品概要

ご利用
いただける方

- お借入れ時の年齢が満18歳以上で最終償還時の年齢が満80歳未満の方
- 継続して安定した収入のある方
- 当JAが指定する保証機関の保証が受けられる方(三菱UFJニコス保証)(農業信用基金協会保証)
- その他当JAが定める条件を満たす方

お使いみち

- 自動車購入資金(新車・中古車・自動二輪)
- 自動車購入時の諸費用(税金・自動車共済(保険金)掛金、登録諸費用等)、車検・整備の費用、カー用品の購入費用
- 運転免許の取得費用
- 簡易な車庫建設のための費用

お借入金額

- 10万円以上1,000万円以内(所要金額の範囲内)

お借入期間

- 6か月以上15年以内

ご返済方法

- 元利均等返済(月払方式またはボーナス月増額返済併用方式)

担保・保証

- 担保: 不要です。
- 保証: 当JAが指定する保証機関(ニコス保証・農業信用基金協会)の保証をご利用いただきますので、原則、保証人は不要です。
別途、保証料が必要となります。

ご注意ください

- 表示金利は、令和7年8月1日～令和7年9月28日までにお申込みいただき、令和7年11月28日までにお借入れ頂いた場合に適用されます。
なお、金融情勢等、基準金利の変化により、本チラシの表示金利を見直しさせていただく場合があります。

※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

※店頭にて返済額の試算を承っております。

※JAマイカーローンをご利用中に、繰上返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途JA所定の手数料が必要となります。

※ローン商品の詳しい内容については、店頭にて説明書をご用意しております。

※ご返済の滞りなどが発生した場合には、引下げ後金利の適用を中止し、店頭標準金利に引き上げさせていただきます。



JA阿蘇



「JAとのお取引はこれから」というお客さまもお気軽にお問い合わせ・ご相談ください。(ご利用に関しては、組合員加入のための出資が必要となります。)